

学校事務職員の
学校運営への参画による
学校の総合力の向上に向けて

— 事務職員・教員連携協力校連絡会議 研究報告 —



平成25年3月

山口県教育委員会
事務職員・教員連携協力校連絡会議

はじめに　～学校事務職員と教員の連携の必要性～

教育を取り巻く環境や社会の動きが急速に変化し、学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、これらの課題に的確に対応し、信頼される学校づくりを進めるためには、一人ひとりの教職員が資質能力を一層高めるとともに、組織的な学校運営を推進することにより、一人ひとりの教職員がもつ力や取組を学校全体の力や取組として生かすことが必要です。

こうした中、学校事務職員は、学校事務の中心を担っていることから、学校事務職員がこれまで以上に教員との連携を図り、学校運営に参画することにより、組織的な学校運営が促進され、学校の総合力が向上することが期待できます。

本県では、平成23年度から、組織的な学校運営による学校の総合力の向上に向けて、学校運営や人材育成の要である教頭を中心とした取組を進めており、その取組の中で、「事務職員の学校運営への参画体制の強化」をテーマとして学校運営の改善・充実に取り組む学校9校を協力校として、「事務職員・教員連携協力校連絡会議」を設置し、協力校での取組を通じた実践的な研究を行いました。

本報告書は、平成23年度の協力校での実践を踏まえ、学校事務職員の学校運営への参画に向けた基本的な考え方や具体的な方策についてまとめたものです。

学校事務職員の学校運営への参画に向けては、学校事務の中心となる学校事務職員の主体的な取組はもとより、管理職をはじめとする教職員の理解・協力が必要であることから、多くの方にお読みいただき、学校に勤務する全ての職員が一体となって、学校運営に取り組み、児童生徒や保護者の願いに応え、信頼される学校づくりを推進していただくようお願いします。

山口県教育委員会
事務職員・教員連携協力校連絡会議

.... 目 次

はじめに ~学校事務職員と教員の連携の必要性~

第1章 学校事務と学校事務職員の現状

I 学校事務の現状

1	学校事務の現状と課題	2
2	学校事務に今後、期待されること	4

II 学校事務職員の現状

1	学校事務職員の現状と課題	6
2	学校事務職員に今後、求められるもの	8

第2章 学校事務職員の学校運営への参画に向けて

1	学校事務職員の学校運営への参画に向けた基本的な考え方	12
2	学校事務職員の資質能力の向上	13
3	学校事務の組織体制の強化と業務の効率化	16
4	「学校事務職員と教員の相互理解の促進」と 「学校事務職員の学校運営への参画」	21

第3章 具体的な取組(協力校実践事例・提案事例)

○	学校事務職員と教員による教育関係法規等の研修	28
○	教員と事務職員が連携した校務分担の見直し	30
○	「事務室経営案」の作成による学校経営への参画	32
○	事務職員の専門性を生かした学校運営	34
○	教員と事務職員が共同で取り組む教育活動	36
○	教頭と事務職員が協働して行う学校施設の巡回や授業見学	38
○	学級会計処理における管理職・担任・事務職員の連携 ～学級会計処理ソフトを活用して～	40
○	教員用「学級会計の手引き」の作成	42
○	予算編成を通した事務職員の専門性の発揮	44
○	学校予算の取組を通した教員と事務職員の連携	46

補足資料

○	学校評価への事務部門の位置付け例 (平成24年度 山口県立南陽工業高等学校 学校評価書(案))	50
○	予算作成関係資料例 (県立山口高等学校予算関係資料「平成23年度学校予算計画及び実施状況」)	52
○	学年(学級)会計の手引き例 (山陽小野田市立埴生小学校作成「教員用手引き」)	53
○	市町立小中学校における事務の共同実施を行うにあたっての 標準的モデルについて(通知)	61
事務職員・教員連携協力校連絡会議委員等名簿		69